

学友会誌 Vol. 36目次 -2016年12月発行-	執筆者(敬称略)	肩書
総会特別講演		
核と細胞質の対話の仕組み	米田 悦啓	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長
シンポジウム基調講演・参加者ディスカッション		
新専門医制度-専門医の仕組み改革の目指すもの-	千田 彰一	香川大学 名誉教授・徳島文理大学副学長
	和佐 勝史	卒後教育開発センター (医学科教育センター) センター長 (教授)
	坂田 泰史	循環器内科学 教授
	楽木 宏実	老年・総合内科学 教授
生涯教育講座『ゲノム編集改革!』		
①ゲノム編集概論	真下 知士	共同研附属ゲノム編集センター 附属動物実験施設 准教授
②細菌に存在する繰り返し配列の発見からゲノム編集技術へ	石野 良純	九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門 蛋白質化学分野 教授
③ヒトゲノム編集の倫理的課題への取り組み	加藤 和人	医の倫理と公共政策学 教授
④ゲノム編集技術の原理と応用	山本 卓	広島大学大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻 教授
⑤細菌にも存在していた免疫学的記憶	竹田 潤二	環境・生体機能学 教授
⑥小型魚類におけるゲノム編集	藤堂 剛	放射線基礎医学 教授
⑦ゲノム編集とDNA修復機構	中田 慎一郎	細胞応答制御学 独立准教授
⑧iPS細胞におけるゲノム編集	堀田 秋津	京都大学iPS細胞研究所 (CiRA) 物質-細胞統合拠点 (iCeMS) 特定拠点講師
⑨ゲノム編集がひらく未来医療	金田 安史	遺伝子治療学 教授
特集『グローバルヘルス・イニシアティブ』		
①グローバルヘルス・イニシアティブの設立にあたって	金田 安史	グローバルヘルス・イニシアティブ ディレクター 遺伝子治療学 教授
②グローバルヘルスの趨勢：疾病イニシアティブから持続可能性の追求へ	中田 比呂樹	国際・未来医療学 特任教授
③学部での取り組み	和佐 勝史	医学科教育センター 教授
④大学院における国際化とグローバル人材育成	金井 好克	生体システム薬理学 教授
⑤大学の学術交流協定と学生交流覚書の締結：医学科国際交流センターの活動	馬場 幸子	医学科国際交流センター 特任助教
⑥大阪大学医学部附属病院 国際医療センター (Center for Global Health) の次なる課題	中田 研	国際・未来医療学講座 (教授 (兼任))
⑦医療通訳の現状について	南谷 かおり	国際・未来医療学 特任准教授
『地域医療に関する研究助成報告』		
①筋萎縮性側索硬化症患者におけるmicrotrauma関連分子の解析	木下 允	
②泉州地区血液内科診療科ネットワーク構築による地域完結型医療の提供	数藤 孝雄	(採択時)りんくう総合医療センター 血液内科 医長 (現)免疫細胞生物学 助教
③次世代シーケンサーによる大腸癌組織の網羅的解析と血液中の遊離DNAによる新規バイオマーカー探索と治療効果予測	三吉 範克	大阪府立成人病センター 消化器外科 医長 大阪府立成人病研究所 連携研究責任者
『寄稿』		
二人の先輩の遺したもの	新居 志郎	岡山大学 名誉教授
『編集後記』		
	森井 英一	会誌編集委員長・病態病理学 病理診断科 教授